わいわい文庫をご利用いただいた学校から メールをいただきました

富田林市立大伴小学校
磯口多恵子

わいわい文庫の『ノンタン にんにん にこにこ』『はたらくくるま』『しんかんせん』を、２年生から５年生までの支援学級の子どもたちで利用しました。みんな、いままで見たこともないくらい良い姿勢、三角座り、体育座り、正座をして、画面に食い入るように見つめていました。

いつも図書の時間には図書室で、子どもたちは各々自分たちの好きな本を読んでいますが、その日は図書の時間の終わりの10分間、わいわい文庫を初めて全員で見ることにしました。私のクラスの子どもは、以前見ていたのでそれほどでもないかなと思いましたが、全員で見ると雰囲気がちがうのか、緊張して、口をあけて、ほーっと見とれていました。もちろん、他の初めてマルチメディアDAISY図書を見る子どもたちも全員そうでした。そのときの様子を写真に撮っておけばよかったと思うくらい、全員があんぐりと口をあけて、みとれていたのです。聴き惚れていたのです。

「先生が読んでないのに声が聴こえる～。不思議!!!」という感じでした。そのうちにストーリーに夢中になり画面に吸いつくように見ていたのが印象的でした。わいわい文庫による読み聞かせが終わると、なんと自分たちで、勝手に手を上げて、「絵が多くてよかったです」「おもしろかったです」「つぎは、くるまがみたいです」「楽しかったです」と感想を言い合うのにこれまた、ビックリしました。「女の子にあうのがみたいです」などとも言っていました。 こんなに積極的な姿が見られるなんて正直びっくりでした。

わいわい文庫を利用してのご感想やご要望を、ぜひ財団事務局までお寄せください。
みなさまのご意見をいただきながら、障害のある子どもたちの成長により貢献できる文庫に育てていくことをめざしています。
メールはこちらへ　bf-book@itc-zaidan.or.jp